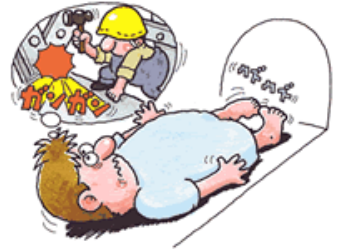


MRI 検査説明書 —MRI 検査を受ける方へ—



MRI 検査の特徴について

MRI 検査は強力な磁石と電波を使う検査です。検査中は大きな音と振動がします。検査時間は約 30 分から約 60 分です。検査は台の上に横になって、狭いトンネルの中に入って行きます。検査中は動かないでください。

※検査当日は金具等の付いていない服装でお越しください。

注意事項

以下のものは外して、検査室に入ります。



- ・鍵、補聴器、腕時計、磁気カード、電子機器等（故障したりやデータが消失します）。
- ・入れ歯、装飾品、使い捨てカイロ（成分が鉄分の為）、エレキバン、金具の付いた下着等。
- ・マグネット付きの義歯や義眼（付かなくなる場合があります）。
- ・カラーコンタクトレンズ（金属を含んだ製品があります。検査当日は装着を避けるか、検査前に外していただきます。保存容器とメガネをお持ちの方はメガネをご用意ください）。
- ・湿布薬、ニトロダーム（ニトログリセリン真皮浸透絆創膏）、ニコチンパッチ等（貼っている部位に電流が流れる場合があります。検査前に外していただきますので予備をご持参ください）。
- ・金属製顔料を使用したアイラインや化粧、マニキュア、ペディキュア、金属を用いたネイルアート等（やけどの可能性がります。検査当日はご遠慮ください）。
- ・ヒートテック等の保温下着や、遠赤外線下着（着ていると、ヒリヒリ感や火照り、発熱の可能性がります。検査当日の着用はご遠慮ください）。



次の方は、検査は可能ですが注意が必要です。

- ・妊娠 3 カ月以内（胎児への安全性が確立されていないため、急ぐ必要のない方は妊娠 4 カ月以降、出来れば出産後の検査が望ましい）。
- ・刺青がある（やけどの可能性や、変色することがあります）。
- ・けがや事故などで体内に金属片や異物が入っている（画像のゆがみの原因になります）。
- ・金属加工業をしている、また、していた（体内、特に目の中に金属片が混入している場合があります）。
- ・小児や、極度の閉所恐怖症がある。

検査に伴う危険性

次の方は、MRI 検査を受けることが危険です。スタッフにご相談ください。

- ・心臓のペースメーカーや金属製の人工心臓弁が入っている
- ・人工内耳を装着している
- ・取り外しのできない金属製の義眼が入っている
- ・脳動脈瘤の手術でクリップが用いられ、かつ、そのクリップの MRI に対する安全性の確認が取れていない
- ・金属製のステントを挿入して間もない（概ね 6 週間以内）ただし、MRI 対応のステントであれば検査可能
- ・MRI に対応していない磁性体金属が体内にあるか、体内に金属が入っていてその素材が不明。または、体外金属が取り外せない
- ・人工骨頭や人工関節が入っていて、かつ、MRI に対する安全性の確認が取れていない
- ・体内に埋め込んだ生命維持装置、体外の生命維持装置が外せない
- ・脳、脊髄の手術で神経刺激装置が入っている

MRI 造影剤検査説明書（院外依頼用）

以下の通り概要を説明します。

「必要性」と「副作用」をご考慮の上、造影剤の使用にご同意いただける方は、別紙の「MRI 造影剤使用同意書」にご署名の上、メディカルシティ東部病院職員へお渡してください。なお、署名された後に同意を撤回する事も出来ます。

1. 造影剤使用の必要性について

造影剤を静脈内に注射し、血管や色々な臓器を見えやすくします。腫瘍などの病変もわかりやすくなり、正確な診断ができます。

2. 造影剤の副作用・合併症について

造影剤による何らかの副作用が 100 人中 1 人くらいの頻度で起こることが学会等で報告されています。多くはかゆみ、じんま疹、吐き気といった軽い症状で治療の必要はありません。ただし、冷汗、血圧低下、呼吸困難、ショックといった重篤なものが、35~45 万人に 1 人くらいの頻度であり、極めてまれに重篤なショックでの死亡が 2000 万人に 1 人の頻度で報告されています。また、以前の造影検査で症状がなかった方でも、その後の検査で副作用、合併症を生じる場合があります。、注意が必要です。

3. 緊急時の対応について

上述のような副作用が発生した場合は、検査担当医師や看護師が適宜対応致します。重篤な副作用、偶発症が起きた場合は、他科の医師と協議し必要な処置を行いますが、症状によっては入院治療等が必要になることがあります。その際の診療も通常の保険診療にて行います。

4. 検査前の処置について

検査前の食事は取らないでください。水分摂取の制限はありませんが、乳飲料製品は飲食されないのでください。お薬の服用は、担当医師にご確認ください。また、検査当日に体調が悪い方は、担当職員へお申し出ください。

5. 検査後の生活について

造影剤は尿と一緒に排泄されますので、普段より多めに水分を摂取して下さい。食事も普段通り摂取して頂いて構いません。万一、検査後時間が経ってから体調が悪くなられた場合には、かかりつけ医、及び、メディカルシティ東部病院（電話：0986-22-2240）にご相談ください。

6. 検査の同意について

この MRI 造影検査説明書の内容を読み、造影剤の使用に同意される場合、別紙の「MRI 造影剤使用同意書」に署名の上、担当者へお渡してください。なお、一旦検査に同意し署名された後でも同意を撤回することもできます。また、検査当日に体調が悪い方は、担当職員へお申し出ください。